

ぐんぐんわかる

学習ホイント

読み
考
える力

1 春の おつかい

ものがたり①



答え

① 1

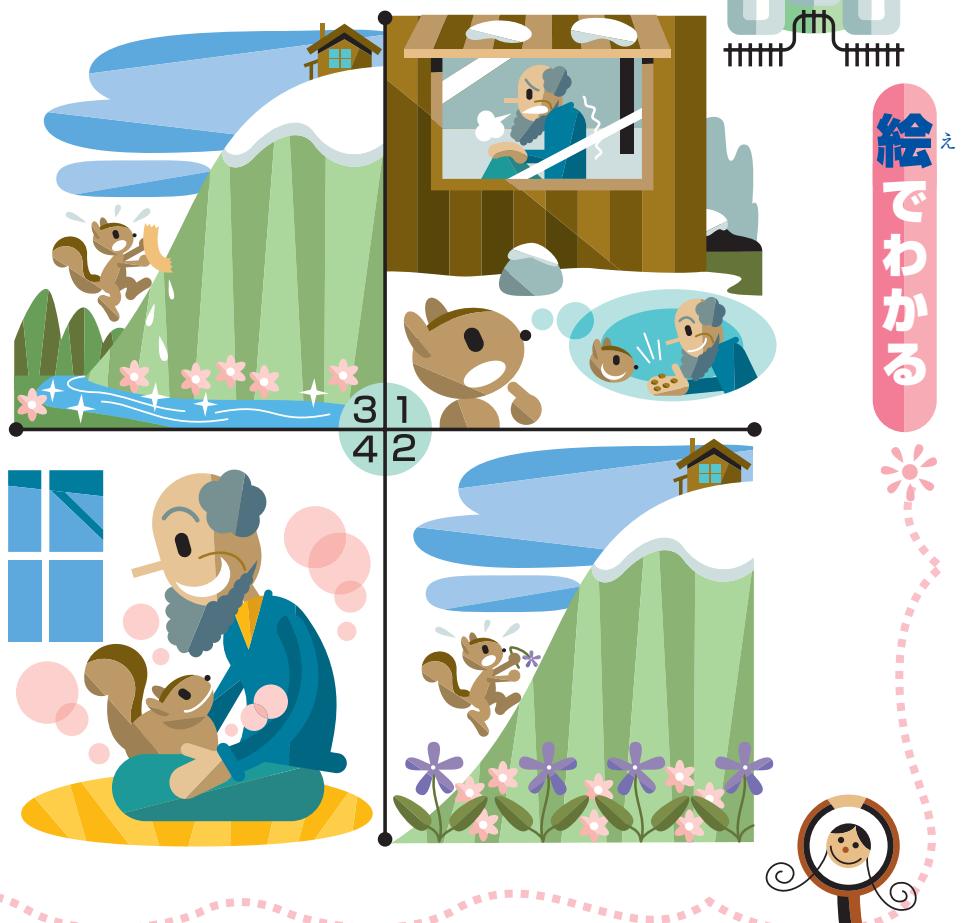
② 3

③ 2

④ 4

つぎの文は、どの絵に 合うかな。

- ① 春を とどけてあげたいな。
- ② 小川の水を とどけたかったのに。
- ③ すみれを とどけたかったのに。
- ④ 春の空気を いっぱい つめこんだよ。



これだけは覚えよう

おぼ

● ものがたりの もとになるのは、「だれが」「いつ」「どこで」「何をした(どうした)」の四つだよ。

● だれが……出てくる人や どうぶつ
● いつ……させつや 日にちや 時間
● どこで……いるところ
● 何をした……したことや 思ったこと

△ だいじな考え方

● ものがたりを 読むときは、四つの
● もとを たしかめながら 読むよ。

①の絵は・子りすが

・冬

・こやの まどの 外から
・おじいさんが ひざを さするのを見ている。

②の絵は・子りすが

・春のはじめ

・山の ふもとから、山の上
の こやへ
・すみれの花を とどけよう
としている。

これでわかった



1

まきみつてみよう



答えは1ページ

つぎの文しようを
読みで、あとのもんだいに
答えましょう。

春の おつかい

れれれ
たゞ

山のふもとは、もうなんとなく春らしくなつていいました。でも、山の上のすみやきのおじいさんのこやにまでは、まだ春は来ていません。おじいさんは、さむいといたむひざをさすりながら、「春が来ればこの足もよくなるだろうに。」

と、ひとりことを
まどの 外で、一ぴきの 子りすが これを きいて いま
した。

この子りすは、ゆきでたべものが見つけられない冬のあいだ、おじいさんからまめやかつおぶしのかけらをもらつて、元気にくらしました。

(1) 右の文しようのきせつは、いつごろでしようか。よ
いものに○をつけましょう。

(2) ①春から夏にかわるころ
②夏から秋にかわるころ
③秋から冬にかわるころ
④冬から春にかわるころ

おじいさんのすんでいるばしょはどこでしよう。
か。よいものに○をつけましょう。

③ ② ①
～ ～ ～
～ ～ ～
海山町のの
ちかく



2
つぎの文しようを 読んで、あとの もんだいに
答えましょう。

「おじいさんが あんなに まつて いる 春が、早く
来れば いいのに。……そうだ！」
いい ことを 思いついて 子りすは いそいで 山を
おりて いきました。

ふもとに 来て みると、ほんとうに 春めいて いま
した。
「春の しるしへ ないかな？ あつ、すみれ！」

(1) あ 「春めいて いました」とあります、どういういみでしょうか。よいものに○をつけましよう。

(2) ① 春がなかなかこないといういみ。
② () 春らしくなつていたといういみ。
③ () 春がすぎてしまつたといういみ。

（い） 「春のしるし」とあります。右の文しよ
うで、子りすが見つけた「春のしるし」は何で
しょうか。



春の おつかい

ものがたり①

こた
答えは1ページ

もういちどやつてみよう



1 つぎの 文しようを 読んで、あとの もんだいに 答えましょう。

子りすは、かけよって そつと つむと、たいせつに 口に くわえて、山の こやへ むかつて いそぎました。

「春の おつかい、春の おつかい。」

子りすは うれしくて たまりません。

こやの ちかくまで 来て ふと 見ると、すみれは しょ

れて、もう きれいでは ありませんでした。

しばらく かんがえて いた 子りすは、くるりと うしろ を むいて、また 元気に 山を おりて いきました。

ふもとへ つきました。

「もっと いい 春の しるしは ないかしら。」

そして、子りすは、木の かわに、ほんの すこし 春の

小川の 水を くみました。

「春の おつかい、春の おつかい。」

子りすは、心の 中で くりかえしながら、ちょうどしく 山を のぼって いきました。

でも、まだ あまり のぼらない うちに、

「あ、あれ？ なくなっちゃってる！」

小川の 水は、木の かわに しみこんで しまつたのでした。

子りすは、□ かおを しましたが、思い直して ま

た 山を おりて いきました。

(1) あ 「山の こやへ むかつて いそぎました」と あります。が、何を するためで しょうか。よい ものに ○を つけましょ。れんしゅう1の 文しようも 読んで 答えましょ。

(2) ① () 春の おつかいが おわったので、じぶんの すに もどる ため。

(3) ② () おじいさんに すみれを とどけて よろこんで もらう ため。

(4) ③ () 「春の しるし」と あります。が、上の 文しようで、子りすが 見つけた「春の しるし」は 何で しょうか。

(5) □ に あてはまる ことばを つぎから え

(6) ③ ② ① らび、○を つけましょ。
―――― うれしい
―――― かなしい
―――― いきいきと した





たしかめてみよう



春の おつかい

ものがたり①

答えは1ページ

1 つぎの 文しようを 読んで、あとの もんだいに 答えましょう。

ふもとへ 来た 子りすは、まんまるい 目を きよろきよろさせて、よくよく 春の けしきを ながめました。小さな はなを ぴょこぴょこさせて、春の 空気を むねいつぱいに すいこみました。それから、春の 毛の中にも、いっぱい 春の □ を 入れました。

春の おつかい 春の おつかい。
うれしい 子りすは、まるで 春を つめこんだ ちやいろい まりのようです。



「春の おつかい！」

こやの まどから いきなり とびこんだ
ふわふわの ちやいろい まりは、いたむ
ひざを さすつて いた おじいさんの ひざの 中に
ほんと とびこむと、うれしそうに おじいさんを見
上げました。

「おお、おお、おまえは あたたかいのう。春の においが するよ。」

子りすは、うれしくて じつと して いられずに、また 外に とび出して いきました。

春は、もう すぐ そこまで 来て います。

(1) □ に あてはまる ことばを つぎから えらつけましょう。

(1) び、○を 小川の 水 (2) () 空気

(2) あ 「春の おつかい」とあります。どういう う いみでしようか。よいものに○をつけましょう。

(1) () 「春」に たのまれて、町へ かいものに 行くこと。

(2) () 春を まつ おじいさんに、春の しるしを とどけること。

(3) い 「うれしくて じつと して いられずに」とあります。どうして うれしいのでしょうか。よいものに○をつけましょう。

(1) () 小川の 水を おじいさんに とどけることが できたら。

(2) () 大すきな おじいさんに よろこんでもらえたから。

(3) () すみれの 花が きれいに さいて いたから。

ぐんぐんわかる 学習ポイント 言葉の力

1 かたかなで 書く ことば

① どうぶつの 鳴き声
② 外国の 国の 名前や 人の 名前
③ いろいろな 音
④ 外国から 来た もの

答え 3 1 4 2



かたかなの書き方にはきまりがあるよ。

これでわかつた
おは

・にごる 音^{おん}には、ひらがなと 同じよう
に「、」や「。」をつけるよ。

……テレビ、プリン

・小さく書く字も ひらがなと 同じよ
うに書くよ。

……バット、コップ、ジヤム

・のばす ことばは 「ー」で 書くよ。

……チヨコレート、ボール

かたかなで書くことばを
にわけてみよう。

・音をあらわすことば

・鳴き声をあらわすことば
……ポンボニ

・ 外国 の 国 の 名前 や 人 の 名前
……モーモー、ヒヒーン

イギリス、マイ

…カメラ、ガム



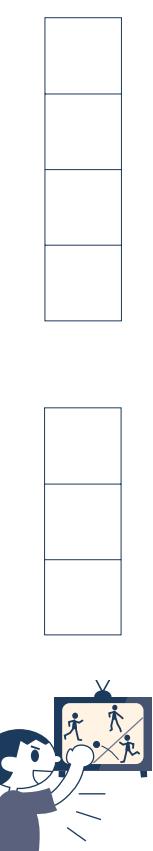
かたかなで書くことば

ପ୍ରକାଶକ ପତ୍ର



——を引いたひらがなをかたかなに直しまなお

(1) さつかあの しあいを てれびで 見る。



(2) ほおるぺんのきやつぶをなくした。



(3) 父はじえつときのばいろいろとです。



2
つぎの文にはかたかなのまちがいが一つずつあります。まちがった字を○でかこみ、正しいことばを()に書きましょう。

(1) コップにオレンジチユースをそそぐ。



(2) リヤツクサツクにバナナとサンドイツチを入れた。



(3) シヤツのポケットからチユコレートがおちた。



卷之三



答えは1ページ





1

〔たくしい・よつと・ちょこれえと・ぴあの〕

(4) ふね



(3) たべもの



(2) じどうしゃ



(1) おんがく



1 つぎのことばのなかまをあとからえらび、かたかなに直して書きましょう。

もうひらがなでみてみよう



かたかなで書くことば

(2)



(1)



(2) ものの音



(2)



(1)

2 上の絵を見て、□にあてはまることばをかたかなで書きましょう。

(1)

どうぶつの鳴き声

答えは1ページ

ジ		
ー		
ヤ		

ピ		
ュ		
ー		

	ケ	
	コ	
コ		

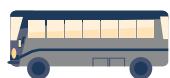
チ		
ュ		
ー		





こんちゅう・ブルドッグ・じどう車
バイオリン・バス

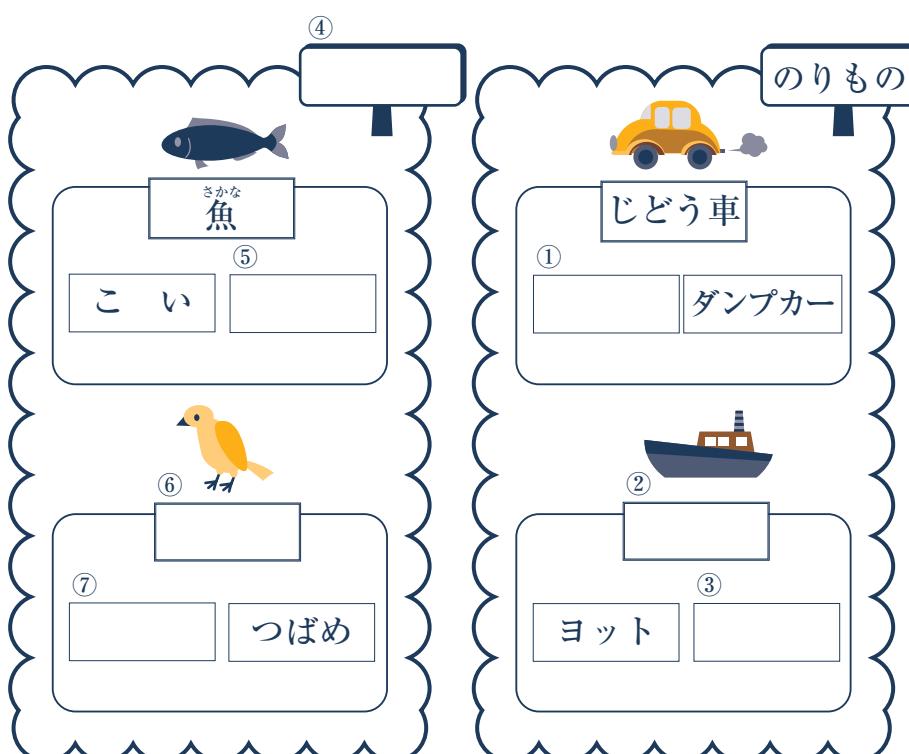
(4)	(3)	(2)	(1)
～	～	犬	がっき
			～
			ギター
			～
			ピアノ
			～
			シェバード
			ダックスフント
			～
			かぶとむし
			～
			チヨウ
			～
			トンボ
			～
			タクシー
			～
			トラック
			～



1 つぎの()に、あてはまることばを、あとの□からえらんで書きましょう。

かたかなで書くことば

たしかめてみよう



とり 鳥・バス・ふね・たい・どうぶつ・ボート・にわとり

2 ①～⑦の□にあてはまることばを、下からえらんで書きましょう。

答えは1ページ

